



SSKO

おあしす通信

編集 キープハート(おあしすの事業を支える市民の会)

2024年 3月号



4年ぶりの対面イベント 新春ボッチャ大会（2、3ページをご覧ください）



社会福祉法人
おあしす福祉会

〒136-0076 東京都江東区南砂3-4-6
TEL 03-5690-5959
<http://www.oasisfukushi.or.jp/>



就労継続支援B型事業所

■オアシス・プラス 〒135-0021 東京都江東区白河4-7-2 TEL 03-5646-7811

■コム・オアシス 〒136-0076 東京都江東区南砂3-4-6 TEL 03-5690-5959

多機能型（就労継続支援B型・就労移行支援・就労定着支援）事業所

■ピアワーク・オアシス 〒135-0001 東京都江東区毛利1-7-3 TEL 03-5638-1775

地域活動支援センター／指定（特定・一般）相談支援事業所／自立生活援助

■ウィル・オアシス 〒135-0002 東京都江東区住吉1-17-20住吉ビル4階 TEL 03-6284-0545

共同生活援助事業（グループホーム）

■第2クローバーハウス

おあしす利用者家族の会「杏の会」

公益事業

■住宅確保要配慮者居住支援法人（居住支援法人）

〒136-0073 東京都江東区北砂1-5-20東陽町ダイヤモンドパレス2階204 TEL 070-6435-5374

「みんなと会えてよかった」「新たな一面を発見した」 ～おあしす4年ぶりの対面イベント 新春ボッチャ大会2024開催～

誰もが参加できるような交流会にしたい

「今年こそ、おあしすの仲間と直接顔を合わせて交流したい」そんな願いから、実に4年ぶりとなる対面での交流会を企画することになりました。今回は各事業所で実行委員の募集を呼びかけ、利用者と職員一緒に準備をしてきました。はじめは、なにをやるかわからないし恐る恐る…という様子で参加をしていた利用者も、実行委員会を重ねるごとに代表として、一緒に参加できたらいいなという人たちの顔を思い浮かべて積極的に意見する姿が見られました。

「コロナ禍でも安心して参加できる交流会って、どんな内容がいいのかな？」

「忘年会がしたいって声が多いけれど、みんなで飲食は控えないといけないし…」

「スポーツっていう声もあがっているよ」「スポーツだと人が集まらないんじゃないかな」

「誰もが参加できるようなスポーツがいいんじゃない？」

悩みに悩んで企画したのが、年齢、性別、障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に競い合えるスポーツ『ボッチャ』を通じた交流会でした。

はじめましての人もあるだろうから…とお近づきになるきっかけづくりとして自己紹介カードをつくり、試合前に自己紹介をする時間を設けました。「交流会に参加して良かった」と思ってもらえるように、企画から当日を迎えるための準備に臨む実行委員の姿は、とても頼もしいものでした。

新たな一面や素敵な表情が見られたボッチャ大会

日頃お世話になっている方々もお誘いし、総勢63名で『新春ボッチャ大会2024』が1月26日に開催されました。

普段は物静かで動きも控えめな利用者が、ボッチャの試合中はとてもダイナミックなフォームでボールを投げ、周りの人たちを魅了していました。また、ある利用者はチームのピンチをスーパープレイで救い、歓声が上がりました。お手製のポンポンを両手に高く振りながら、力いっぱい声援を送る参加者の姿もとても印象に残っています。

会場からエールをもらっての「嬉し恥ずかし」という表情、ジャックボールを見つめる真剣な表情、チームの仲間に向ける優しい表情、審判を全うする実行委員の一生懸命な表情。普段とはまた違った、どれも素敵な表情を見ることができました。

おあしすの仲間との交流だけでなく、「地域生活支援センター ステップ」「五和貴江東クリニック デイケア」「江東ウォーリアーズ」のみなさんにもご参加いただき、一緒に楽しい時間を過ごせたこともとても有意義でした。



「ボッチャははじめて」という方も仲間と楽しむ姿が見られました



全12チームで白熱した試合がくり広げられました



お手製のポンポンで応援！
とても盛り上がりました



東北、そして能登半島を
応援するコーナーをつくりました

「参加できて良かった」という方たちの声

ポッチャの経験がないから
楽しめるか心配はあったけれど、
想像以上に楽しめた

試合に夢中で
いつも出ないような大きな声か
出ている自分に
ちょっとビックリした

スポーツに苦手意識が
あったけれど楽しめた
これを機に身体を動かす機会を
つくりたいと思った

何年ぶり？というほど
久しぶりに再会できた人と
会って話せて嬉しかった

練習を重ねていた人の
プレイがとってもかっこよくて
圧倒された

参加賞の手づくりクッキー
（オアシス・プラス作）が
とても美味しかった！

仕事では見られないような仲間の新しい一面を
見ることができて新鮮だった



スポーツを通じていろんな人と
楽しい時間を共有できて
一体感が生まれたように感じた

実行委員をしてくれた利用者の声

なにをやるか決めるところからだったのでどうなるかと不安もあったが、
自分たちの意見ですこしずつカタチになっていくのが嬉しかった

「これだ」と思って提案した交流会のタイトルが採用された！嬉しかった！

実行委員って大変なことをやるんじゃないかとはじめはすこし警戒する気持ち
もあったけれど、自分の意見を伝えたり、いろんな人の意見を聞く良い機会に
なった。実行委員、やって良かった

当日実行委員の腕章をつけると、「がんばろぞ」と気合が入った。3位決定戦の
審判をしたときに、ものすごく盛りあがって、わたし自身も楽しめた！

代表としてみんなの前で挨拶するのはすごく緊張したけれど、やりきったと
いう達成感を味わえた



実行委員を担ってくれたある利用者が、後片付けのときに「楽しかった。ありがとう」という声をかけてくれました。企画から当日まで一緒に奮闘してきた利用者からの思いがけない一言に、とても感動した場面が今でも蘇ってきます。

普段は一人で過ごすことが多かったり、皆で何かをおこなう機会が少ない利用者たちが、交流を通して人と喜びを分かち合ったり、実行委員としてイベントをつくりあげる達成感、充足感を体感されたのではないかと考えます。また、チームに貢献すること、実行委員として役割を担うことは自己肯定感を育む機会にもなったのではないのでしょうか。今回の交流を通じて、工夫次第で利用者たちが力を発揮できる場所や機会を創出できるのだということをあらためて認識しました。

（元 武寛）

半年かけてみんなで計画！ ～念願のディズニーシーに行ってきました～

▼シンボルの地球儀

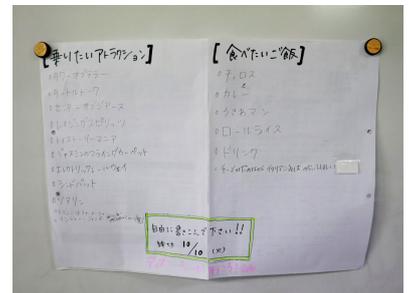


2023年11月10日にコム・オアシスの利用者が企画・立案したディズニーシー日帰り旅行に行ってきました。日頃から利用者は「またみんなと楽しいことをしたい」と話しながら、長く続く新型コロナウイルスの影響で多くの人が集まる場所での行事は諦めてきました。

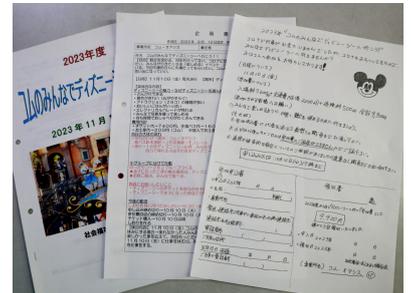
しかし、2023年5月に新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、ついに利用者たちから「私たちもそろそろディズニーシーに行きたい」と声があがりました。利用者が“コロナ禍で縮小した交流を作業以外の場で深める”ために、半年かけて計画した軌跡をご紹介します。

計10回！定期開催したディズニーミーティング

当初は「費用はいくらかかるの?」「チケットの買い方がわからない」「どうやって行けばいい?」などわからないことばかり。それでも企画が具体的になると、更なる参加者を集めるため、想像以上の費用に驚く人には毎月の工賃を積み立てることを提案しました。利用者から「今回は仕事を休み比較的混雑しない平日に行きたい」「職員も同行してほしい」という希望があがりました。そのためにみんなで役割を決めて企画書などを作成し、施設長に「休む代わりに別日で働く」ことを交渉しました。しかし、施設長から応援されつつも「仕事を優先したい人もいるはずだ」という指摘を受けました。仕事をしたい人や事情があり行けない人もいることを考えると、「もうディズニーシーに行けないのではないか」という声さえ上がりました。それでも“みんなでディズニーシーに行く”という願いは強いままで、職員を交えた話し合いの結果、「次の行事には参加しようと思ってもらえるように、みんなでお金を出し合ってお土産を買い楽しかった話をたくさんする」ことになりました。その後もミーティングの経過を他の利用者に話し誘い続けた結果、当初の5人から12人まで参加人数を増やす事ができました。



▲利用者のやりたい事一覧



▲利用者が作成したしおり・企画書・参加申込書

▼プロメテウス火山



▼40周年記念の幕



実現目前！当日全力で楽しむために

参加者が増えたことで移動に配慮が必要な利用者も加わり、より一層“どうしたらみんなで楽しめるか”を考えました。当初の交通手段は直通の高速バスを想定していましたが、“みんなとの親睦を深める”という目的に立ち返り、誰もが使え交通手段を選ぶことにしました。また、それぞれが希望したアトラクションに乗れるように、絶叫アトラクションに乗るグループと、待ち時間が少ないアトラクションを狙ったグループに分かれる工夫もしました。わからないことだらけの中パーク内の地図やガイドブックと睨み合い、インターネットからも情報を集め、お互いの希望を叶えるため真剣に計画を練り続けていました。

いよいよ迎えた当日

当日の天気は、あいにくの雨に加え想像以上の混み具合。「迷子にならないか不安だ」という意見から、リーダー・副リーダーにより拠点ごとに点呼をすることにしていました。また、班別行動をするけれど“お昼ごはんはみんなで食べる”と決めていたため、リーダー達を中心に時間を調整し、なんとかみんなでカレーを食べることができました。利用者たちは自分たちで考えた対策を実行しながら、ディズニーキャラクターのカチューシャをつけ非日常を思い切り味わっていました。無事コム・オアシスに戻り、解散前の最後のミーティングでは、「本当に楽しかったから、今度は今日参加していない人も参加できるような企画をしたい」という声が多くあがりました。

▼カチューシャをつけた利用者



利用者の力と周囲の変化

今回の利用者主体の行事企画では、“これをしたい”という強い意志は人が行動を起こす時に大きな力になることを実感することができました。そしてこの企画をやり遂げられたのは、常に利用者がお互いのことを思いやり“みんなで安心して楽しむこと”を考え続けたからだと思います。普段一緒に働いている利用者が率先して話し合う姿や、わからないことがあっても諦めずに対策を考え課題をひとつずつ乗り越える姿に、周囲も自然と応援するようになっていました。後日、「無理だと思っていたディズニーシーに行けたのだから、今後の仕事を頑張れそうだ」と行く前とは全く違う自信に溢れた表情の利用者もいました。自ら企画し成し遂げたことは利用者にとって大きな自信となっているように思います。「今年はこちらに行きたい」と言う利用者もいます。さあ今後新たな企画が動くのか。また利用者の輝く姿を見られることを心から楽しみにしています。

(山岡 望)



▼▲帰りの電車の内装



▲キャストさんが落ち葉で作ったミッキー

『きょうされん請願署名・募金』にご協力ください

47回目をむかえる「きょうされん国会請願署名・募金」は障害のある人たち・障害のある人を支える事業所の切実な願い・声を国や国会議員の皆様へ届ける取り組みです。

今回は「あたりまえにはたらきえらべる暮らしを」をスローガンに障害福祉についての法制度拡充を求める請願をおこなっています。障害のある人の人権が守られ、安心した生活を送れるように、みなさまのご協力をお願いいたします。詳細は同封の署名用紙をご参照いただき、下記までご郵送ください。

■署名郵送先：〒136-0076 江東区南砂3-4-6 コム・オアシス宛

★リサイクルショップおあしすからのお知らせ★

提供品・フードドライブの食品を募集しています。詳しくは同封のチラシをご覧ください。また、リサイクルショップの最新情報はX（旧Twitter）にて発信しています。

